

2017年1～2月

山陰地方大雪災害シンポジウム

－鳥取県における大雪被害の実態と今後の対策－

日時 **2017年8月27日(日)** 14:00～17:30

会場 **とりぎん文化会館 第1会議室** (鳥取市尚徳町101-5)



※JR鳥取駅から若桜街道を
県庁方向へ徒歩20分

入場無料

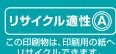
どなたでもご参加いただけます
(申し込み不要,199席)



主催：新潟大学災害・復興科学研究所
共催：鳥取県
後援：NPO 法人氷河・雪氷圏環境研究会
京都大学大学院工学研究科 災害リスクマネジメント
工学 (JR 西日本) 講座
NHK 鳥取放送局

【問い合わせ先】 担当：河島

新潟大学災害・復興科学研究所 複合・連動災害研究部門
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
電話:025-262-7051(代)
E-mail:kawasima@cc.niigata-u.ac.jp



Symposium on Heavy Snow Disaster
in Sanin District, January and February 2017

Program

司会：松元 高峰(新潟大学災害・復興科学研究所 特任准教授)

開会挨拶 福岡 浩(新潟大学災害・復興科学研究所 所長)

講演 14:05～

「雪氷圏の環境変動と鳥取県の大雪」

成瀬 廉二(NPO法人氷河・雪氷圏環境研究会 代表)

第1部 大雪災害報告 14:25～

鳥取県内の大雪災害と県の対応

安田 達昭(鳥取県危機管理局 局長)

冬期における道路交通の確保について

松岡 弘久(鳥取河川国道事務所道路管理第二課 課長)

山陰地方大雪による鉄道への影響と対応

荒川 勝也(西日本旅客鉄道(株)米子支社米子土木技術センター 所長)

山陰地方大雪による災害の特徴

河島 克久(新潟大学災害・復興科学研究所 教授)

第2部 来る大雪に向けて 15:35～

山陰地方に大雪は再び来る

本田 明治(新潟大学理学部 准教授)

大雪情報をどのように発信するか

尾花 麻美((株)ライフビジネスウェザー 気象予報士「いちおしNEWSとっとり」担当)

降積雪分布をリアルタイムに把握する

伊豫部 勉(京都大学大学院工学研究科 特定准教授)

農業用ハウスの被害を軽減する

森山 英樹(農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究部門 上級研究員)

—— 休憩 ——

第3部 パネルディスカッション 16:15～

今後の大雪災害への備えを考える

コーディネーター：河島 克久(新潟大学災害・復興科学研究所 教授)

パネリスト：安田 達昭(鳥取県危機管理局 局長)
博田 敏和(鳥取地方气象台 予報官)
本田 明治(新潟大学理学部 准教授)
尾花 麻美((株)ライフビジネスウェザー 気象予報士)
伊豫部 勉(京都大学大学院工学研究科 特定准教授)
森山 英樹(農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員)

開会挨拶 安田 達昭(鳥取県危機管理局 局長)

Research Institute for Natural Hazards
and Disaster Recovery, Niigata University